

写

長野県知事

阿部 守一 様

小規模圏域における市町村間連携
に対する支援に係る要望書



令和元年（2019年）7月26日

北アルプス連携自立圏

大町市・池田町・松川村・白馬村・小谷村

平素より大北地域の地域活性化並びに広域連携につきまして、格段のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当圏域では、人口減少の抑制や少子高齢社会への対応、地域経済の活性化、住民サービスの安定的な提供等地域の諸課題に対応するため、圏域5市町村が地方自治法に基づく連携協約を締結し、自主的な市町村間の連携を図る「北アルプス連携自立圏」を形成し、若者交流・結婚支援、移住交流、観光、福祉、医療・保健等様々な施策に取り組んでおります。

こうした取組は連携市町村が自立的に推進すべきものではありませんが、人口約6万人の小規模圏域であり、各市町村の財政基盤、人的体制もせい弱でありますことから、今後も取組を推進するためには、国、県による積極的なご支援が不可欠であります。

国では、定住自立圏、連携中枢都市圏等の制度により市町村間連携を積極的に推進し、該当市町村に対し財政措置が講じられておりますが、当圏域はその制度の対象から除外されており、このままでは大都市圏との格差ばかりでなく、地方圏の中でも地域格差が一層拡大することが危惧されます。

また、地方制度調査会におきましては、平成30年度から地方行政体制のあり方について検討されておりますが、小規模圏域における市町村間連携に対する支援等については不透明であります。

こうした中、県におかれましては、総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン2.0」で市町村間連携の積極的な支援を掲げ、小規模圏域に対する「市町村の広域連携推進交付金事業」を創設し財政支援を行うとともに、総合調整を担う人材を配置するなど、当圏域における自立圏の形成及び運営に対し、多大なるご支援をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

こうした当圏域に対する県のご支援は本年度までとされておりすが、将来にわたって北アルプス連携自立圏の取組を一層拡充し、成果に繋げるためには、継続的なご支援が不可欠であります。

つきましては、小規模圏域における市町村間連携を持続的かつ安定的に推進するため、次の事項について、特段のご高配を賜りますよう要望申し上げます。

1 国に対し、定住自立圏の中心市要件を満たす都市がない圏域において、連携協約を締結して地域の活性化、定住促進等に取り組む市町村に対する財政措置を創設するよう働きかけること。また、こうした取組に対する財政支援を県が実施する場合に、県に対する財政措置を行うよう要望すること。

2 県においては、小規模圏域における市町村間の連携に対して、国による財政措置が行われるまでの間、市町村の広域連携推進事業交付金事業による財政支援を継続すること。

また、市町村及び広域連合相互の間の総合調整を担う人材の確保が難しく、かつ県の直接的な関与が連携の円滑化を図る上で極めて重要な役割を果たしていることから、併せて人的支援を継続すること。

大町市長 牛 越 徹

池田町長 甕 聖 章

松川村長 平 林 明 人

白馬村長 下 川 正 剛

小谷村長 中 村 義 明